

日本銀行の金融緩和策の見直しについて

一般社団法人 関西経済同友会

代表幹事 宮部 義幸

- 本日、日本銀行は金融政策決定会合を開催し、マイナス金利政策の解除や長短金利操作の撤廃等、現行の「量的・質的金融緩和」の修正を決定した。
- 物価の上昇と併せ、賃金の上昇が見込まれる中で、わが国経済は今、持続的な成長に向けた転換点にあると受け止めている。
- 一方、金利が上昇すれば、日本政府の利払い費は増加する。改めて日本政府には、財政再建への道筋を示すことを求めたい。
- そして、企業経営者は、さらなる生産性の向上を目指すことで、賃上げや成長投資の原資の確保に努めていかなければならない。

以上